



2023年6月30日

各位

会社名 株式会社サインド  
代表者名 代表取締役社長 奥脇 隆司  
(コード番号：4256 東証グロース)  
問合せ先 代表取締役副社長兼管理部長 高橋 直也  
(TEL. 03-6277-2658)

### 上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2023年3月31日時点（以下「基準日」という。）において、東京証券取引所グロース市場における上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画書を作成いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関しまして2025年3月末までに、上場維持基準に適合するために、次の通り各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (基準日時点)	2,006人	14,412単位	14億円	24.84%
上場維持基準	150人以上	1,000単位以上	5億円以上	25%以上
計画期間				2025年3月末

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

当社は、今後グロース市場における上場維持基準を維持することを目指し、持続的な成長と企業価値の向上に資するための事業活動、資本政策を実施していくことを基本方針として、流通株式比率の増加を図り、2025年3月末までに上場維持基準への適合を目指して参ります。

当社は、基準日時点で、当社主要株主で代表取締役である奥脇隆司と高橋直也、取締役である亀井信吾で、74%超の株式を保有していることから、流通株式比率が24.84%と基準である25%を下回っております。

そこで、以下のような流通株式比率向上のための施策を実施することで、上場維持基準（流通株式比率25%以上）を充たすように取り組んでまいります。

① 役員保有株式への流動化の検討

当社役員で 74%超の保有株式数があることから、株式保有比率の引き下げにあたっての具体的な方法について検討、協議を進めてまいります。具体的な時期、方法につきましては検討中であり、開示すべき事項を決定した際には、速やかにお知らせいたします。

② IR の促進

当社は、自社ホームページなどを通じて、株主・投資家向けの情報開示を行っておりますが、これらの一層の充実を図るとともに、今後もより多くのステークホルダーの皆様にご理解いただけるように、引き続き積極的な情報発信を行ってまいります。

また、現在半期ごとに決算説明会を開催し、業績や事業内容等を説明しておりますが、個人投資家向けの各種セミナー参加等による IR 活動の強化に努め、知名度を向上させるなど、裾野を広げる活動を実施してまいります。これにより、個人投資家の投資意欲を喚起し、流動性の改善を進めることで、大株主の株式売却を促す方針です。

③ 当社従業員向けのストック・オプションの行使の働きかけ

当社は当社従業員に対しストック・オプションとしての新株予約権を付与しております。第 1 回新株予約権（目的となる株式数は本書提出日現在において 276,500 株）の行使の条件を充たし従業員が行使可能となる日が 2024 年 12 月 22 日以降となり、全て行使された場合は当社の試算では基準日時点の流通株式比率から 3.42%の改善になります。そのため、従業員に対し早期の権利行使を促す方針です。

3. 流通株式比率の基準適合までに要する期間の設定について

当社役員保有株式の流動化の検討や IR 活動の強化による知名度の向上、ストック・オプションの行使の時期には、相応の時間がかかると想定していることから、計画期間は、2 年（2025 年 3 月末まで）を見込んでおります。

以上